



四十八瀬川自然村

# 里山だより

第.003号  
2005年  
春号

発行日 : 2005年4月23日  
発行元 : 四十八瀬川自然村  
里山部会  
責任者 : 比内 護

## 里山新緑ウォーク特集

4月17日(日)に丹沢まつりの協賛企画として恒例の「里山新緑ウォーク」が開催されました。当日は春爛漫のウォーク日和で、参加者には「自然再発見」「秦野再発見」のコースを楽しんでもらいました。丹沢の山並みや風のつり橋、遠く江ノ島や伊豆半島も望めるロケーションは魅惑一杯ですが、何よりも里山を下った柳川地区の風景には何かほっとする気持ちです。

今後とも、私達が整備している里山を経由するこのウォーキングコースを多くの方に知ってもらい、合わせて四十八瀬川自然村の里地・里山整備と酒米作りに関心を持ってもらえるようにしたいものです。

**5月には、村民でこのコースを歩く会を実施する予定です。その際はぜひ参加してください。**

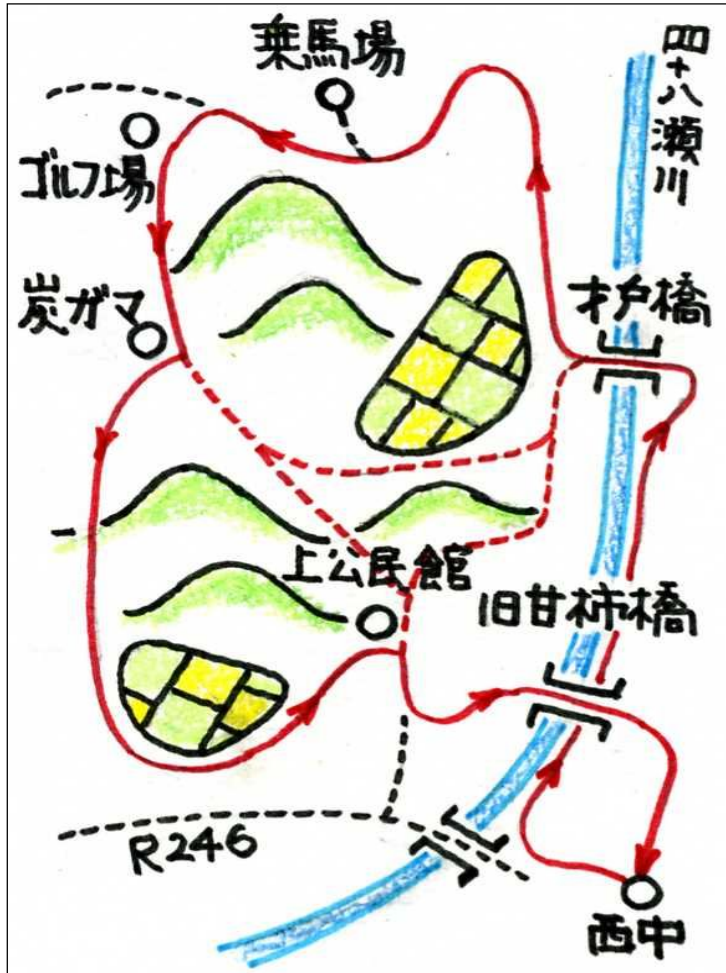
今回のイベントは、村民の皆さんの準備活動と当日の支援で成功裏に終了しました。感謝致します。



柳川の里地

「不思議の国に迷い込んだような感覚」と表現しても、なるほどと思える何か日本人には懐かしい風景です。

自然を愛する皆さんが大事にしたいと思う地域です。



スタート地点

スタート地点の西中学校では、村民の協力で丹沢まつり協賛の売店が出来ました。ここで、ゴールしたウォーカーには甘酒で疲れを癒してもらいました。



旧甘柿橋の田んぼ  
ウォーカーを迎えるために、大きな看板を準備しました。



苗代ダイコンの花

田んぼの写真班が、撮った写真をゴールで配布する粋なサービスもありました。苗代ダイコンの花摘みも楽しんで、参加者も大満足だったようです。



里山のテーブル

里山では1ヶ月以上前から、園内整備を行ってきました。間伐材を利用して、ベンチ・テーブル・案内板等の整備を完了。当日はここで弁当を広げられました。